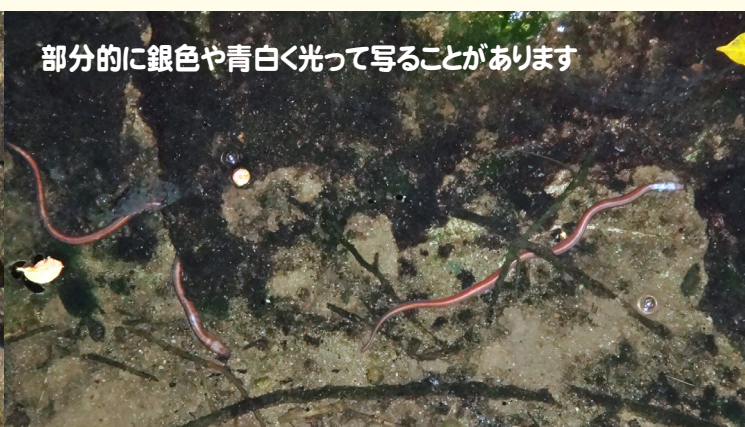


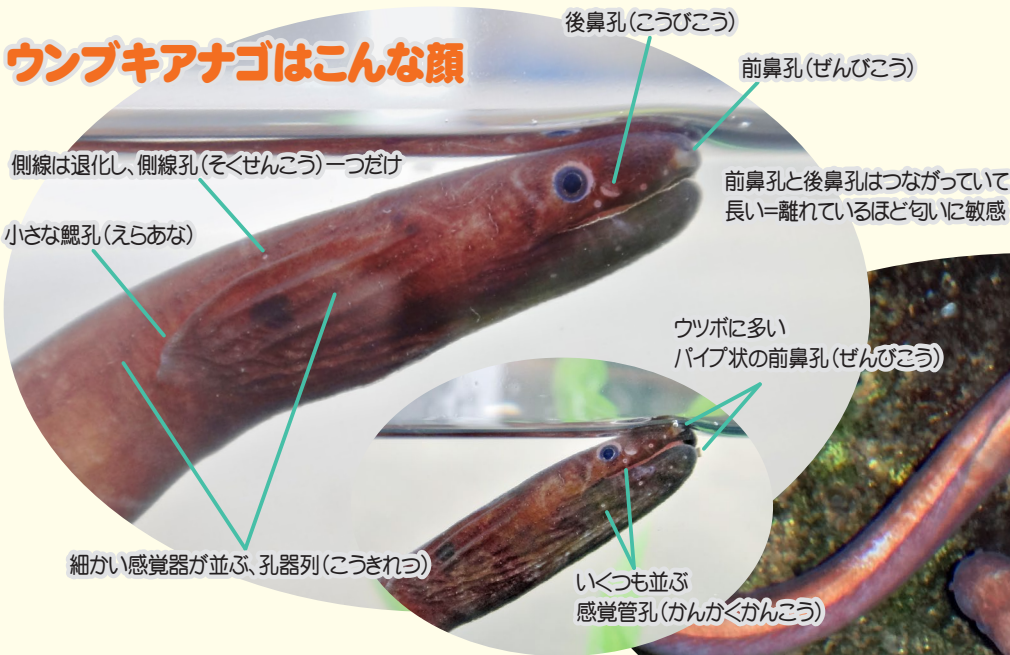


## 初だっ! 天城町初の天然記念物 ウンブキアナゴ

日本国内ではウンブキのみ、**世界で6ヶ所目**に見つかった希少な魚類、ウンブキアナゴ。4月30日に、**天城町で初めての町指定天然記念物**になりました。偶然にも、アマミノクロウサギが動物で初めて国の天然記念物に指定されたのが1921年で、ちょうど100年前のこと。ウンブキアナゴは、ウナギ目・ウツボ亜目・イワアナゴ科で、アナゴ亜目のマアナゴやウナギ亜目のオオウナギとは異なり、ウツボに近い種です。国内で見ついているイワアナゴやクロヒゲイワアナゴなどイワアナゴ科の魚類は、いずれも人との接点がない生態のため、ほとんど知られていません。ウンブキは、海とつながった海底洞窟のなかでも、真水が流れ込んで汽水域となったアンキアライン環境となっていて、ウンブキアナゴはそうした特殊な環境に適応しています。ところが、一昨年秋を最後に、地上から見える水域では確認されておらず、昨夏には無断で仕掛けられた網かごが見つかり、捕獲により減少した可能性が高まったため、保護を目的として天然記念物に指定されることになりました。一方、国内外の人目にふれることのない海底洞窟で、ひっそりと暮らしていたウンブキアナゴが産卵し、その稚魚がウンブキへたどり着く可能性があり、ウンブキ1ヶ所の乱獲によって完全に絶滅することはない…のかもしれませんが。なお、**日本語の名=和名**が無かったため、ウンブキアナゴと名付けた際の論文によると、学名が付けられた最初の標本=ホロタイプとは骨格の一部が異なっていて、成長などに伴う変異なのか、種が異なるのか未だ謎だそうです。



### ウンブキアナゴはこんな顔



学名は **Xenoconger Fryeri**

**Xeno** = 異世界の **conger** = アナゴ **Fryeri** = 発見者、英国の昆虫学者 **John Fryer** 卿への献名

最初に発見されたのは1908年ごろの **Assomption** 島 インド洋西部に位置する、セーシェル共和国の島の一つ

もっと情報が見られる  
電子版はこちら

